

■高場乱 教育家，眼科医。亀井門三女傑。志士らと交流，維新後，頭山満が入塾し，塾生の多くが内乱に関与。

たかばおさむ

鼠小僧磔・・・1832＝ 筑前国博多近郊の住吉村で，眼科医高場延山の次女に生まれる。\_野村望東尼の従妹。  
男として育てられ，

滑稽+人情本 1835＝ 3歳：早くも父から漢学の手ほどきを受け，

大塩平八郎乱1837＝ 5歳：

適塾ワフソ・・・1838＝ 6歳：兄義一に従って漢学の塾に通い始める。

天保改革始・・・1841＝ 9歳：

阿部正弘首座1845＝13歳：

孝明天皇・・・1846＝14歳：兄義一が父の高場姓を受け継ぎ，請われて秋月藩の藩医になると，

・・・1847＝15歳：\_算を求める父に勧められて結婚するも，頼りない男で自ら離縁，  
\_以後，父の眼科医の手伝いをしながら，一生を学問に貫く気持を高め，独身。

国定忠治磔・・・1850＝18歳：

尊徳報徳論・・・1851＝19歳：\_父から外出時の帯刀を許されるが，その父が中風で倒れ，高場医学を継ぐ。

ペリー来航・・・1853＝21歳：

\_亀井南冥・昭陽父子に学び，亀井小琴・原菜蘋とともに，亀井門三女傑と呼ばれる。

松下村塾・・・1856＝24歳：\_父の死去で，眼科医を営みながら，漢学の塾を開くことを決意，

蕃書調所・・・1857＝25歳：\*{興志塾}を開き，多くの青少年の教育にあたり，尊攘論を鼓吹，

安政の大獄・・・1859＝27歳：この頃，亀井塾の大先輩で男装の閨秀詩人として有名だった原菜蘋と会い，影響されたが，

桜田門外変・・・1860＝28歳：流行したチフスに罹って菜蘋が死去，

遣欧使節・・・1861＝29歳：亀井塾の同輩平野国臣から教えられ，夫の亡くなった後尼となった\_従姉の野村望東尼を訪ね，

\_やがて望東尼のもとに集まる志士らと交流，

薩摩藩士密航1865＝33歳：この年，長州藩論が一変して勤王派が弾圧され，望東尼も姫島に配流され，高杉晋作が救出したが，

大政奉還・・・1867＝35歳：高杉に続いて，\_望東尼も死去。

明治維新・・・1868＝36歳：\*火災で家が焼けたのを機に，福岡藩の薬用人参畑後に移り，"人参畑の先生"として有名になる。

明治6年政変 1873＝41歳：遠山満が入塾。

佐賀の乱・・・1874＝42歳：\_佐賀の乱には，塾生数人が佐賀征韓党のもとにかけつけ，

西南戦争・・・1877＝45歳：\*西南戦争では，塾生がこぞって西郷隆盛に味方し，薩摩から走り続けてきた使者から西郷隆盛が自尽した  
ことを知らされた後，自らも西郷に荷担した嫌疑で逮捕されたが，まもなく釈放。

琉球処分・・・1879＝47歳：\_頭山満らが開いた向陽義塾(のちの玄洋社)の最初の師に迎えられ，

明治14年政変1881＝49歳：\*閉鎖となって後は，

漸強義塾でも，若者を指導したらしいが，

\_眼科医として余生を送り，

帝国大学始・・・1886＝54歳：

自由民権運動には反対で，優れた弟子たちが早世したり，決起して処刑されたりするのを憂い，

帝国憲法発布1889＝57歳：

帝国議会始・・・1890＝58歳：弟子の一人である来島恒喜が大隈重信へテロを仕掛け自殺したことに衝撃を受けたようで，

足尾鉞毒始・・・1891＝59歳：後を追うように病床に伏し，一切の治療を拒み，弟子たちに看取られつつ\_没した。